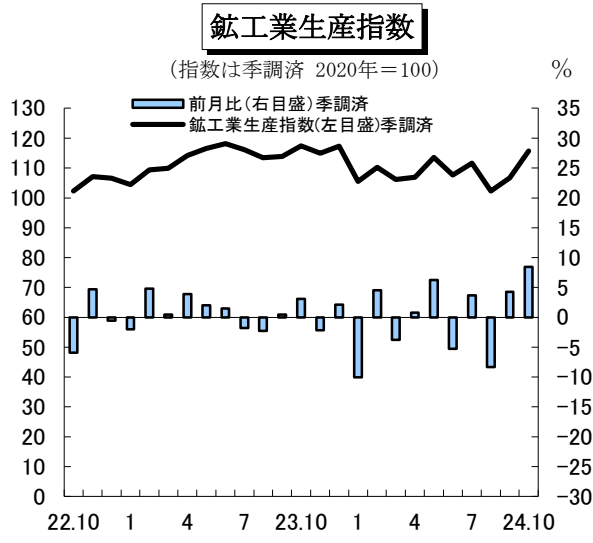


# あいち経済の動き（月報）

（2024年10月分）

## 生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比8.4%の上昇



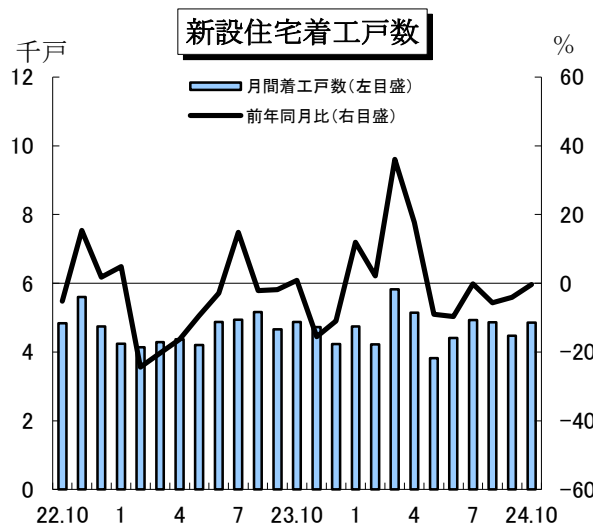
2024年8月	9月	10月
↘	→	↗

### 主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、輸送機械工業が16.6%上昇するなど、全体で8.4%の上昇となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年同月比で、輸送機械工業が4.9%上昇するなど、全体では0.8%の上昇となりました。

## 投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比0.4%の減少



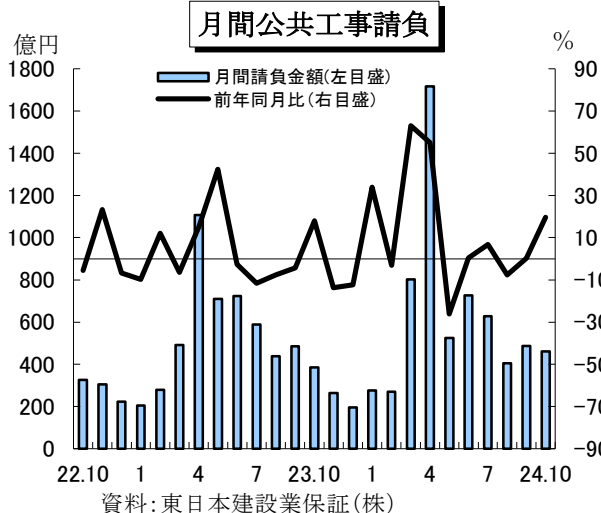
2024年8月	9月	10月
→	→	↘

### 主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、0.4%減となり、6か月連続の減少となりました。

主な内訳は、持家が12.8%増加し、貸家が5.7%、分譲住宅が3.7%減少となっています。

## 投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比19.7%の増加



2024年8月	9月	10月
→	→	↗

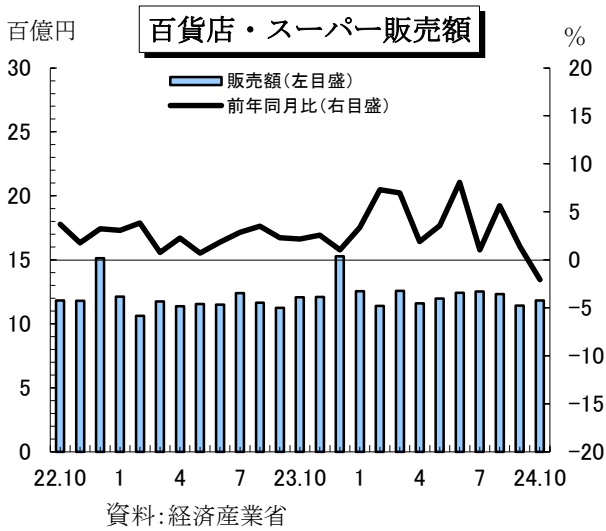
### 主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、19.7%増となり、2か月連続の増加となりました。

月間請負件数の前年同月比は、5.0%増となり、3か月ぶりの増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

## 個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%の減少



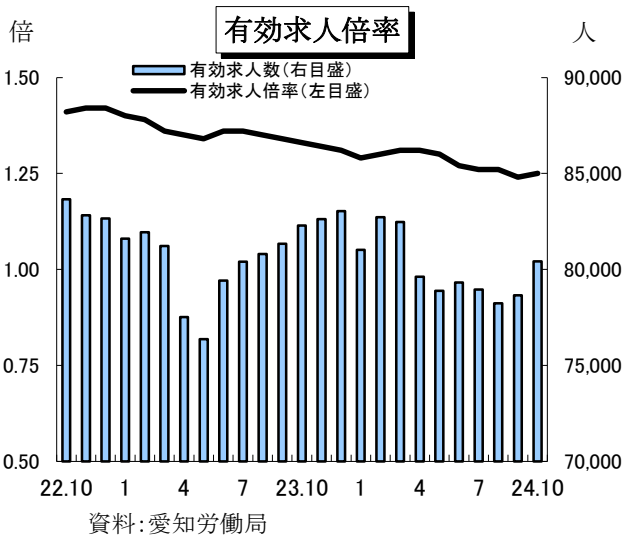
2024年8月	9月	10月
↗	→	↘

### 主な指標の動き

百貨店・スーパー販売額の前年同月比は、2.1%減となり、32か月ぶりの減少となりました。

内訳として、百貨店販売額の前年同月比は、衣料品が6.5%減となるなど、全体では2.6%の減少となりました。スーパー販売額の前年同月比は、衣料品が20.2%減となるなど、全体では1.8%の減少となりました。

## 雇用：有効求人倍率は、1.25倍



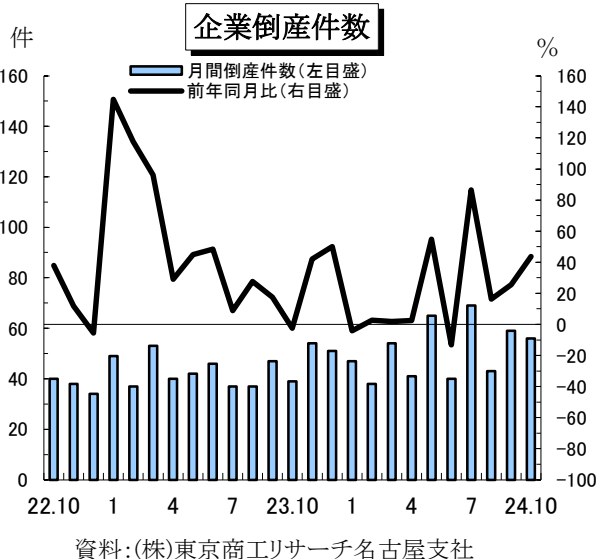
2024年8月	9月	10月
→	→	→

### 主な指標の動き

有効求人倍率は、1.25倍と2か月ぶりの上昇となりました。

有効求人数の前年同月比は、2.3%減となり、5か月連続の減少となりました。

## 企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比43.6%の増加



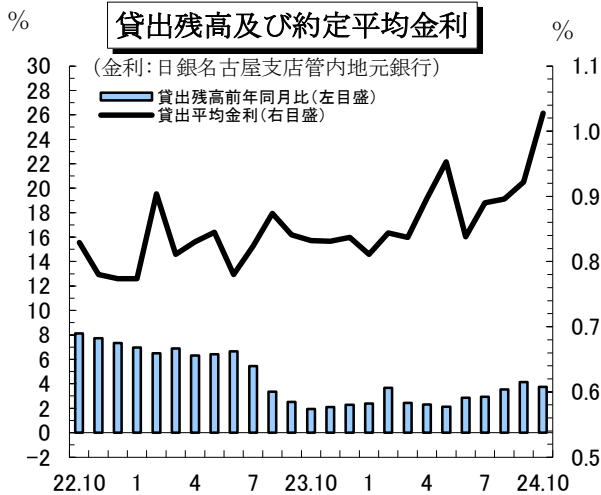
2024年8月	9月	10月
→	↘	→

### 主な指標の動き

企業の月間倒産件数は56件となりました。また、前年同月比では43.6%増となり、4か月連続の増加となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が17件、製造業が14件、建設業が11件、卸売業、小売業、情報通信業が各4件、運輸業が2件となっています。

## 企業（金融）：貸出残高は、前年同月比3.8%の増加



資料:日本銀行名古屋支店

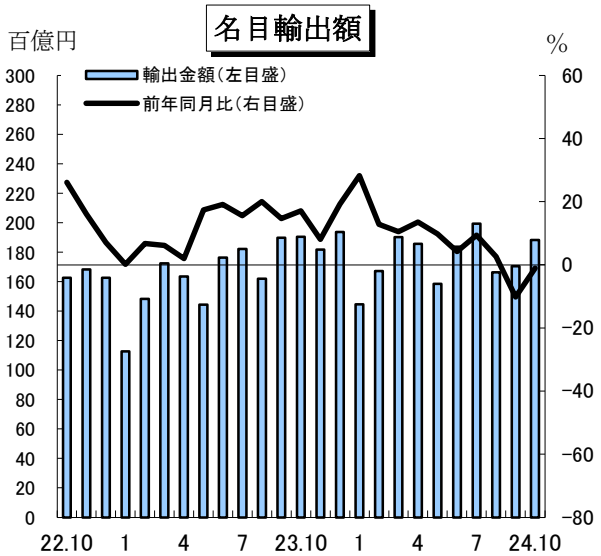
2024年8月	9月	10月
↗	↗	↗

### 主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、3.8%増となり、29か月連続の上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

## 貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比1.1%の減少



資料:名古屋税関

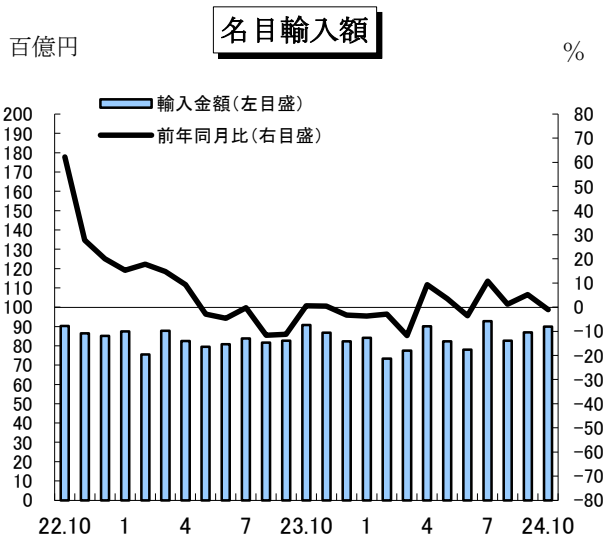
2024年8月	9月	10月
→	↘	↘

### 主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、1.1%減となり、2か月連続の減少となりました。

内訳を地域別にみると、アジア向けが0.8%増加し、北米向けが12.8%、EU向けが3.2%の減少となりました。

## 貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比1.0%の減少



資料:名古屋税関

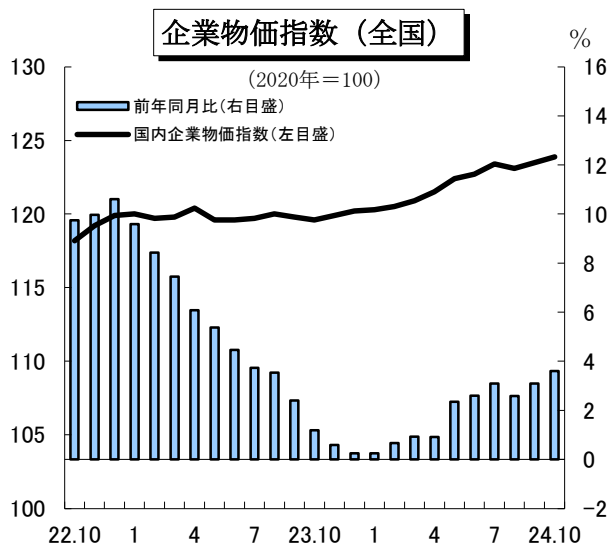
2024年8月	9月	10月
→	↗	↘

### 主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、1.0%減となり、4か月ぶりの減少となりました。

内訳を地域別にみると、北米からの輸入が7.4%、アジアからは5.6%増加したものの、EUからは14.1%の減少となりました。

## 物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比3.6%の上昇



資料：日本銀行

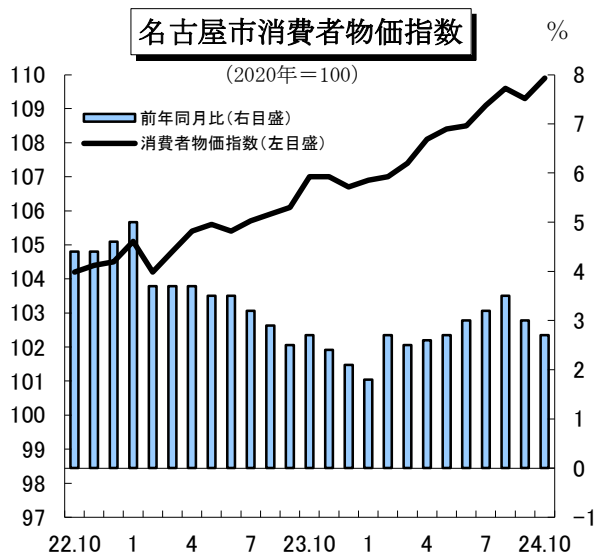
2024年8月	9月	10月
↗	↗	↗

### 主な指標の動き

国内品の企業物価指数(2020年=100)は、123.9となりました。また、前年同月比は3.6%上昇し、44か月連続の上昇となりました。

前月比では0.3%の上昇となりました。

## 物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比2.7%の上昇



資料：総務省統計局

2024年8月	9月	10月
↗	↗	↗

### 主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数(総合)(2020年=100)は、109.9となりました。また、前年同月比は2.7%上昇し、36か月連続の上昇となりました。

前月比では0.6%の上昇となりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

## 経済指標の矢印判定の推移

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産						
投資(住宅建設)						
投資(公共工事)						
個人消費						
雇用						
企業(倒産)						
企業(金融)						
貿易(輸出)						
貿易(輸入)						
物価(企業物価)						
物価(消費者物価)						
	3	5	5	4	4	5
	5	4	3	3	2	1
	3	1	2	1	2	4
	0	1	1	3	3	1

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動向統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	(株)東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同士の対3か月前比プラス →：上記以外
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上
区分	上昇  横ばい  下降 		

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↙”を表示する。